

# 地方議会評価モデル (地方議会の成熟度基準)

## 要約版

初版



地方議会改革プロジェクト  
2020年2月5日(水)

## ■地方議会評価モデルとは

地方議会評価モデルは、「政策サイクル」を中心とした議会の活動過程と、議会の運営状況を確認するための基準です。イノベーションを実現する組織運営の考え方をもとにした枠組みと、先進的な議会改革事例をもとにした確認項目で、優れた成果を生み出すために必要な議会運営のあり方全体を確認し、さらなる改革に向けたヒントを探りましょう。

## ■なぜ、「政策サイクル」による「マネジメント」が重要なのか

「政策サイクル」とは、住民福祉の向上を実現するための、議会の基本的な活動プロセスです。政策形成や審議の過程に沿って、地方議会の様々な制度や活動が連動することで、さらに効果的な成果が期待できます。適切な「政策サイクル」を構築し、限られた人材や資源を最大限に活かして、議事機関としての「議会マネジメント」を実現しましょう。

## ■地方議会評価モデルの枠組み

地方議会評価モデルは、以下の五つの視点から、議会全体のあり方を、「成熟度」という尺度で確認します。



戦略プラン

理想的な姿の構想と具現化

政策サイクル

議会活動の基本的な要素

条件整備

議会が能力を発揮する基盤

信頼と責任

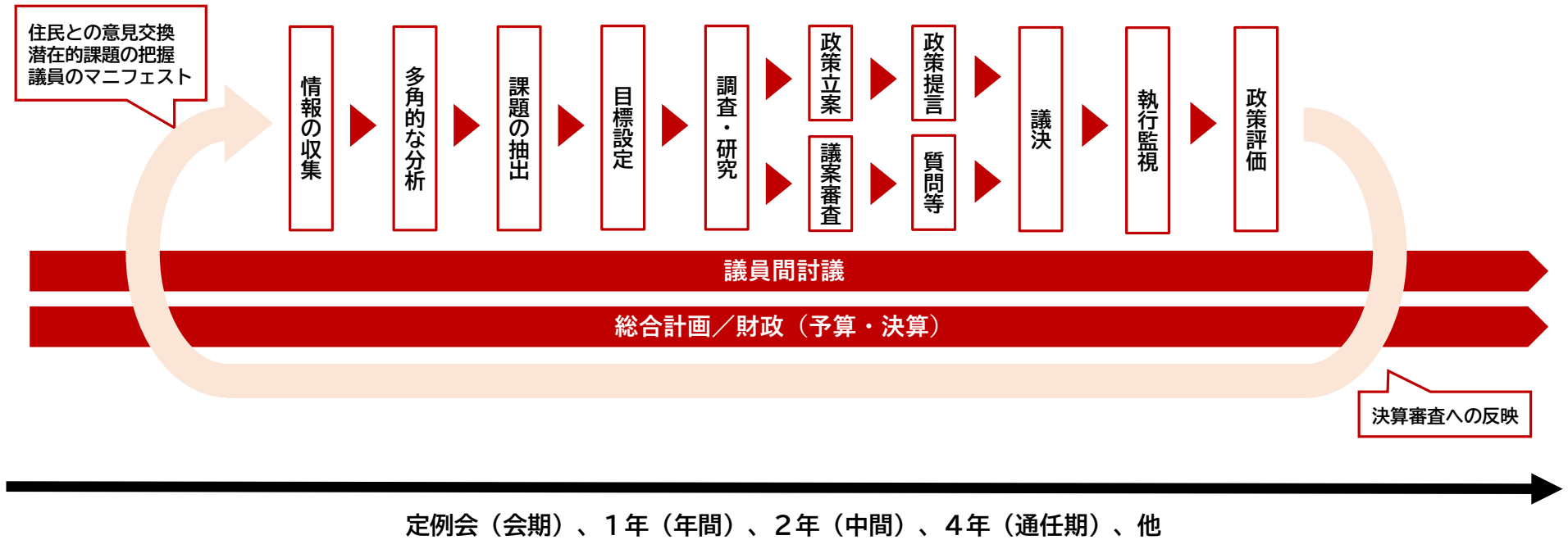
信頼を得るための取組み

ふり返りと学び

さらなる改革への取組み




## ■政策サイクル

政策サイクルは、議会改革をさらに進める上で、地方議会が備えるべき基本的な活動プロセスです。先進的な取り組みには様々な特色がありますが、本モデルでは以下のような流れを基本とします。



## ■「成熟度」という尺度（モノサシ）

「成熟度」とは、議会が「気づき」を生み出す組織的な能力をあらわすものです。以下の三つの選択肢をもとに、議会の状態を確認してみましょう。

| 議会の状態   | （認識）       | （結果）        | （方法）        |
|---|------------|-------------|-------------|
| <b>金</b>  継続的に成果を生んでいる | 議会で共有している  | 明らかな結果が出ている | しくみがある      |
| <b>銀</b>  取り組んでいる      | 理解の程度に差がある | 一部で結果が出ている  | その都度取り組んでいる |
| <b>銅</b>  模索している       | 認識し始めている   | 生み出そうとしている  | 模索している      |

活動の方向性づくりと具現化

|   |   |
|---|---|
| <p>①【理想的な姿の構想】</p> <p>議会に期待される役割を踏まえた上で、めざすべき理想的な姿を構想していますか。</p>    | <p>🏆 社会の変化に応じて議会の理想的な姿を追求し続けるしくみがあり、また、議会が目指している姿が、議会全体に浸透している。</p> <p>🥈 議会の理想的な姿が明文化されているが、議会内に理解が浸透していない。</p> <p>🥉 議会の理想的な姿を模索している。</p>                   |
| <p>②【政策課題の明確化】</p> <p>情報を様々な観点から分析して、議会として取り組むべき政策課題を明確化していますか。</p> | <p>🏆 様々な観点の分析過程を踏まえて、議会として取り組むべき政策課題を明確化するしくみがあり、継続的にその直しも行われている。</p> <p>🥈 取り組むべき政策課題は明確化しているが、分析の観点が限られている。</p> <p>🥉 政策課題は明確化されておらず、その方策を模索している。</p>       |
| <p>③【理想的な姿の実現】</p> <p>理想的な姿を実現するための方策は、具体性があり、かつ、全体の一貫性がありますか。</p>  | <p>🏆 理想的な姿を実現するために、明確な目標を設定し、計画的、体系的な取り組みを行っている。</p> <p>🥈 様々な取り組みは行っているが、それぞれが断片的なものになっている。</p> <p>🥉 理想的な姿を実現するために、具体的な方策に落とし込む方法が定まっておらず、そのやり方を模索している。</p> |



視点1  
戦略プラン













視点2  
政策サイクル

視点3  
条件整備

視点4  
信頼と責任










視点5  
ふり返りと学び

## 議会の基本的な活動

|  |   |
|--|---|
| <p>④【住民との対話】</p> <p>住民との意見交換会や、議会報告会を通じて、住民との対話をもとに情報収集に取り組んでいますか。</p> | <p> 住民との対話やコミュニケーションによって得られた情報が、議会活動に反映される仕組みがあり、議会全体でも共有している。</p> <p> 住民との対面での対話や、非対面でのコミュニケーションにより、住民との対話を通じた情報収集に取り組んでいるが、議会全体ではまだ共有されていない。</p> <p> 住民との対話は十分でなく、そのあり方を模索している。</p>    |
| <p>⑤【議員間の討議】</p> <p>議員間で討議を実施するなど、論点の明確化や合意形成に取り組んでいますか。</p>           | <p> 議員間討議が日常的に行われ、機関意思の形成を意識した合意形成が実現している。</p> <p> 議員間で議論を行っているが、必ずしも合意形成が実現されているわけではない。</p> <p> 議員間の議論のあり方を模索している。</p>  |
| <p>⑥【議案審査・政策立案】</p> <p>調査活動などを通じて、議会独自の視点での議案審査や、政策立案が行われていますか。</p>    | <p> 調査結果を活用し、議会独自の視点にもとづく議案審査や政策立案を行っている。</p> <p> 調査活動を行っているが、議会独自の視点に基づいて議案審査・政策立案を行うという意識は一部の議員のあいだでとどまっている。</p> <p> 調査活動を通じた議案審査・政策立案のあり方を模索している。</p>                            |
| <p>⑦【総合計画・政策成果・決算の連動】</p> <p>総合計画、政策成果、決算認定が連動する仕組みが構築されていますか。</p>     | <p> 議会として、決算時に総合計画の体系を踏まえて政策の評価を行い、その結果を次の予算審議時にも反映させている。</p> <p> 総合計画の体系を踏まえた政策評価を行っているが、決算や予算とはまだ十分にひもづいてはいない。</p> <p> 総合計画を頂点とした政策体系との整合性、政策の目的・成果に連動する予算（決算）審査のあり方を模索している。</p> |



能力向上と連携による組織的基盤の強化

|   |   |
|---|---|
| <p>⑧【能力向上】</p> <p>のぞましい議会運営を実現するために、議員と議会事務局職員が必要な能力の向上に取り組んでいますか。</p>            | <p> 理想的な姿の実現に向けて、計画的・体系的な能力向上に、議会ならびに議会事務局全体で継続的に取り組んでいる。</p> <p> 能力向上の必要性を認識しているが、その取り組みは議会や議会事務局の一部にとどまり、継続的にではなく、必要に応じて、能力向上に取り組んでいる。</p> <p> どのような能力を向上させることが必要かを模索している。</p>               |
| <p>⑨【体制づくりと活動整備】</p> <p>のぞましい議会運営を実現するために、適切な体制づくりや、活動の整備に取り組んでいますか。</p>          | <p> 過去の事例やしがらみに捕われず、理想的な姿の実現に向けて、望ましい体制や活動のあり方が模索されている。</p> <p> 先進事例等も踏まえ、より良い体制や活動の整備に取り組んでいる。</p> <p> 過去の事例等を中心に、体制づくりや活動整備を模索している。</p>  |
| <p>⑩【内部資源と外部連携の活用】</p> <p>議会図書室やICTツールなどの情報インフラや、外部の大学の知見、他の議会等との連携を活用していますか。</p> | <p> 議会内の情報インフラや、外部との連携の枠組みを積極的に活用し、得られた知見も議会活動の様々な場面で活用されている。</p> <p> 議会内の情報インフラや、外部との連携の枠組みの整備に取り組んでいるが、得られた知見の活用は一部にとどまっている。</p> <p> 内部資源の活用のあり方や、外部の大学や議会等との連携のあり方、知見の活用方法を模索している。</p> |



議会に対する信頼の増進

⑪【法令等遵守】

法令や政治倫理をはじめとした、社会からの要請に対応していますか。



社会の要請に応じた政治倫理や、議員に求められる責任を、条例等の形でも明示している。



議会として法令等の遵守に取り組み、社会の要請へ応えようとしている。



各議員の責任で法令等の遵守に取り組んでおり、議会としての対応のあり方を模索している。

⑫【情報公開と説明責任】

議会活動全般の情報公開は、説明責任を果たすものとなっていますか。



説明責任を果たすための情報公開が実現しているとともに、媒体なども進化している。



情報公開に取り組んでいるが、説明責任を果たすには、まだ十分なものではない。



情報公開の必要性を認識しており、説明責任を果たすための情報公開のあり方を模索している。

⑬【危機管理】

大災害等の非常時でも、議会が有効に機能するための準備が行われていますか。



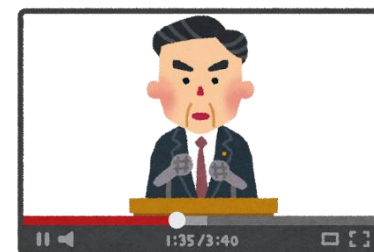
非常時の対応が明確化されており、その運用の訓練も定期的実施されている。









非常時の基本的な対応については、議会内で確認されている。



危機管理の重要性を認識しているが、具体的な対策は各議員の判断にまかせている。



ふり返りを通じた改善

|   |   |
|---|---|
| <p><b>⑭【ふり返りの取り組み方】</b></p> <p>議会全体で、定期的な議会活動のふり返りが行われていますか。</p>              | <p> 議会全体で定期的に議会活動のふり返りを行っている。</p> <p> 委員会などの個別の活動では、振り返りが行われている。一部ではふり返りが習慣化している。</p> <p> 評価や検証など、ふり返りの必要性は感じているが、実際の活動ではふり返りを行うことが習慣になっていない。</p>                |
| <p><b>⑮【ふり返りの結果の活用】</b></p> <p>ふり返りの結果から明らかになった課題が、全体で共有され、改善につながられていますか。</p> | <p> 任期や委員会の枠を超えて、課題を議会として引き継ぐ仕組みがあり、実際に実行されている。</p> <p> ふり返りを通じて得た課題は一部の議員間で共有されるが、議会としてどのように取り扱うかが明確ではない。</p> <p> ふり返りを通じて得た課題は全体で共有されることはなく、その活用方法を模索している。</p> |



日々の議会活動やふり返りを通じて得た「気づき」は、さらなる改善や改革へのヒントです。自らの議会の「優れているところ」や「改善すべきところ」を明確化しながら、「なぜ」そのような結果が生まれているのかを掘り下げて、議会改革の次の一手を考えてみるのはいかがでしょうか。